

「砂防技術総覧」の原稿募集について

(社)砂防学会事業部会

(社)砂防学会では砂防事業、治山事業の調査、計画、設計、施工、維持管理に係わる最新の技術を、現場で担当されている学会員の方々に紹介するために平成21年10月「砂防技術総覧」を出版いたしました。印刷物は行政機関や研究機関、大学などを主な対象として配布し、その他、砂防学会ホームページにおけるPDF原稿の掲載によって、学会員の方々にご活用いただいております。

この「砂防技術総覧」について、最新の技術の成果を迅速に取り入れるために、追加掲載の原稿を募集いたします。新しい原稿は、砂防学会のホームページ内の「砂防技術総覧」に追加掲載し、印刷物の「砂防技術総覧」にも定期的に追加掲載を行う予定です。なお投稿される団体・企業等は砂防学会の賛助会員に限らせていただきます。掲載を希望される賛助会員は以下の原稿投稿要領に従いまして投稿頂きますようお願い申し上げます。

原稿投稿要領

1. 「砂防技術総覧」の仕様、内容

① 投稿区分

- a) 初めて掲載する団体からの技術の掲載：新規掲載
- b) 初版に掲載された団体で新たな技術の掲載：追加掲載
- c) 初版に掲載された団体で既掲載技術の更新：更新掲載

② 仕様：A4判，バインダー綴じ，片面カラー印刷

③ 内容：I. 調査・観測・監視に関する技術・製品：

リモートセンシング（崩壊地判読，画像解析，災害把握など）
測量（レーザー計測，GPS測量など）
水文観測（降雨，水位・流量，流速観測など）
土石流調査観測（流量・流速観測，検知センサー，氾濫解析など）
流砂量調査観測（流砂量計，河床変動計算など）
地すべり・斜面調査観測（変位観測，検知センサー，崩壊予測など）
火山活動調査観測（火山性微動，変位，降灰量等の観測・監視など）
地震調査観測（地震計，震源予測，津波予測など）
その他

II. 工事・施設に関する製品：

堰堤本体（鋼製，コンクリートブロック，木製）
堰堤型枠（鋼製，コンクリートブロック，木製）
護岸・護床工（鋼製，コンクリートブロック，木製）
山腹工
地すべり対策工
斜面・のり面安定工
火山噴火・天然ダム等の緊急対策工
その他

III. その他 の製品

上記のI，IIに該当しない砂防技術関連製品

2. 原稿募集要項

- ① 原稿内容：「Ⅰ. 調査・観測・監視に関する技術・製品」、「Ⅱ. 工事・施設に関する製品」および「Ⅲ. その他の製品」
なお、原則としてすでに実用化されている技術・製品とします。
- ② 原稿様式：本「砂防技術総覧」の各頁を参照して作成して下さい。1件（1技術）につきA4判1ページに限ります。別紙-1に示します原稿執筆要領に基づき作成して下さい。
- ③ ご負担金：
 - a) 初めて掲載する団体からの技術の掲載：新規掲載 25,000円（1件あたり）
 - b) 初版に掲載された団体で新たな技術の掲載：追加掲載 10,000円（1件あたり）
 - c) 初版に掲載された団体で既掲載技術の更新：更新掲載 10,000円（1件あたり）
- ④ 原稿の件数制限：なし。
- ⑤ 原稿締め切り：原稿は随時受け付けます（「3. 配布方法と時期」もご確認ください）。
- ⑥ 原稿送付先：

〒187-0031 東京都小平市小川東町 1-18-4
有限会社 明文社
TEL. 042-345-8619 FAX. 042-345-8621
E-Mail. meibunsha@meibun-sha.co.jp

※原稿をお送りいただく際には、別紙-2の「原稿掲載依頼書」と合わせてご送付ください。

3. 配布方法と時期

- ① 砂防学会ホームページへの掲載
申込みの最終確認の後、1カ月程度のお時間をいただき随時掲載いたします。
- ② 印刷物（追加・更新ページ）の配布
2011年3月31日までに申込みのあった原稿については、2011年5月末頃までに追加・更新ページの印刷物を行政機関や研究機関、大学、初版掲載団体などに郵送配布いたします。
2011年4月1日～2012年3月31日までに申込みのあった原稿は2012年5月末頃の配布とさせていただきます。
- ③ バインダーを含むフルセットでの印刷物配布
本年度初めて応募いただいた団体につきましては、バインダーを含むフルセットの印刷物を1件につき1部配布いたします。

4. お問い合わせ先：

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内
(社) 砂防学会
事業部会長
TEL. 03-3222-0747 FAX. 03-3230-6759
E-Mail. sabou@js5.so-net.ne.jp

5. お振込先

下記口座へ振り込みによりお支払いいただくようお願いいたします。
なお、振込み手数料は貴社負担にてお願いいたします。また、本振込みをもって申込みの最終確認とさせていただきます。

みずほ銀行麹町支店（店番号021） 普通 口座番号：1179589 名義：社団法人砂防学会 砂防技術総覧 会長 鈴木 雅一
--

「砂防技術総覧」の執筆要領

1. ページ

ページは2つの部分で構成されます。(本「砂防技術総覧」の各ページを参照して下さい。)

(a) タイトル部分：横1段組(題目、会社名、連絡先、キーワード)。

(b) 本文部分：横2段組

このほか、フッタ(ページ番号)が付きます。なおソフトウェアによっては、タイトル部分とその下の本文部分が別のファイルに分かれていることがあります。

(1) タイトル部分のレイアウトとフォント

全てのページのマージンは上辺19 mm, 下辺24 mm, 左右ともに20 mmに設定してください。タイトル部分の左右のマージンは、本文の左右のマージンよりもそれぞれ10 mm ずつ大きくとってください。すなわち、A4用紙の幅に対して左右それぞれ 30 mm ずつのマージンをとります。そして以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

タイトル：ゴシック体 20 pt フォント、センタリング

(約 15 mm のスペース)

会社名：明朝体 12 pt フォント、センタリング

(約 5 mm のスペース), 1行以内

連絡先：明朝体 9 pt フォント、センタリング

(約 10 mm のスペース), 2行以内

キーワード：明朝体斜体 9 pt フォント、センタリング(約 10 mm のスペース), 5つ程度, 1行以内

(2) 本文部分のレイアウトとフォント

本文とキーワードの間に約 10 mm のスペースを空けてください。

本文は2段組で、左右のマージンは 20 mm ずつ、段と段との間のスペースは約 6 mm とします。

本文には明朝体 10 pt フォントを用いて下さい。

(3) フッタ

すべてのページの下辺中央にフッタ機能を使ってページが入りますが、ページ番号は暫定的にタイトルページを第1ページとしてつけてください。

2. 見出し(見出しが1行以上に長くなるときはこの例のようにインデントし折り返す)

(1) 見出しのレベル

見出しのレベルは章、節、項の3段階までとします。章の見出しはゴシック体とし、2などの数字に続けて章の表題を書きます。また、章の見出しの上に1行程度のスペースを空けて下さい。ただし段が切り替わる部分は章の見出しが最上部に来るよう調整してください。

(2) 節の見出し

節の見出しもゴシック体で、(4)などの括弧付き数字を付けます。見出しの上だけに1行程度のスペースを空けて下さい。

a) 項の見出し

項の見出しは、括弧付きアルファベットを付け、上下には特にスペースを空けません。項より下位の見出しは用いないで下さい。

3. 数式および数学記号

数式や数学記号は次の式(1a)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1a)$$

$$F = \int_{\Gamma} \sin z dz \quad (1b)$$

のように本文と独立している場合でも、 $C_D, \alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します。数式や数学記号の品質が悪いと版下原稿として受け付けません。

数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰めにします。

4. 図表

(1) 図表の位置

図表はできるだけページの上部または下部に集めてレイアウトして下さい。図表の横幅は、「2段ぶち抜き」あるいは「1段の幅いっぱい」のいずれかとします。すなわち図表の幅を1段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置することはやめて下さい。図表と文章本体との間には1~2

表-1 表のキャプションは表の上に置く。このように長いときはインデントして折り返す。

資料番号	高さ h (m) w (m)	幅
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65

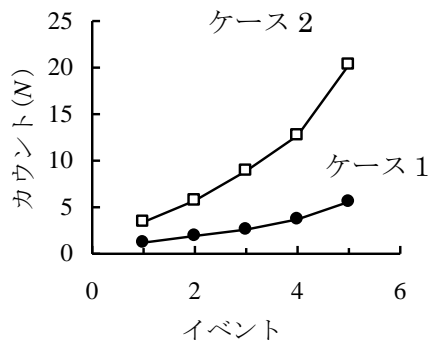


図-2 図のキャプションは図の下に置く

行程度の空白を空けて区別を明確にします。

(2) 図表中の文字およびキャプション

図表中の文字や数式の大きさが小さくなり過ぎないように注意してください。特にキャプションの大きさ (9pt)より小さくならないようにして下さい。

長いキャプションは表-1のようにインデントして折り返します。

5. 記載内容

本文に記載する内容は、アピールしたい技術や製品・機器・システム等について、その紹介文を次の3つの章に構成し、A4用紙1枚(1ページ)以内で記述してください。

1. 概要
2. 特徴
3. 導入実績・特許等

6. 問合せ先

紹介する技術や製品・機器・システム等の問合せ先について記載してください。

7. 原稿のファイル形式

送付して頂く原稿のファイル形式はpdfファイルにてお願い致します。

（社）砂防学会 事業部会長殿

御社住所

御社名

別添原稿につきまして「砂防技術総覧」への掲載を依頼します。

- ① 掲載希望原稿件数 計 件 （次に示すとおり）

No.	原稿ファイル名 (pdf ファイル)	技術・製品名	I. 調査・観測・ 監視に関する技 術・製品 注)	II. 工事・施設 に関する製品 注)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

注) I. II. の該当する区分の方どちら一方に○印をつけて下さい。

注) 原稿の作成に当たっては、別紙の「砂防技術総覧の執筆要領」および本「砂防技術総覧」の各ページを参照して下さい。

- ②原稿ファイルの送付方法（下記のいずれかに○を付けてください）

電子メール , 郵送

- ③お支払い費用金額（掲載料）

新規 件 × 25,000 円 = 円

追加・更新 件 × 10,000 円 = 円

- ④ご担当者の連絡先

住所〒

お名前

TEL;

FAX;

メールアドレス ;

- ⑤納品書・請求書の発行（必要な方は明記ください）